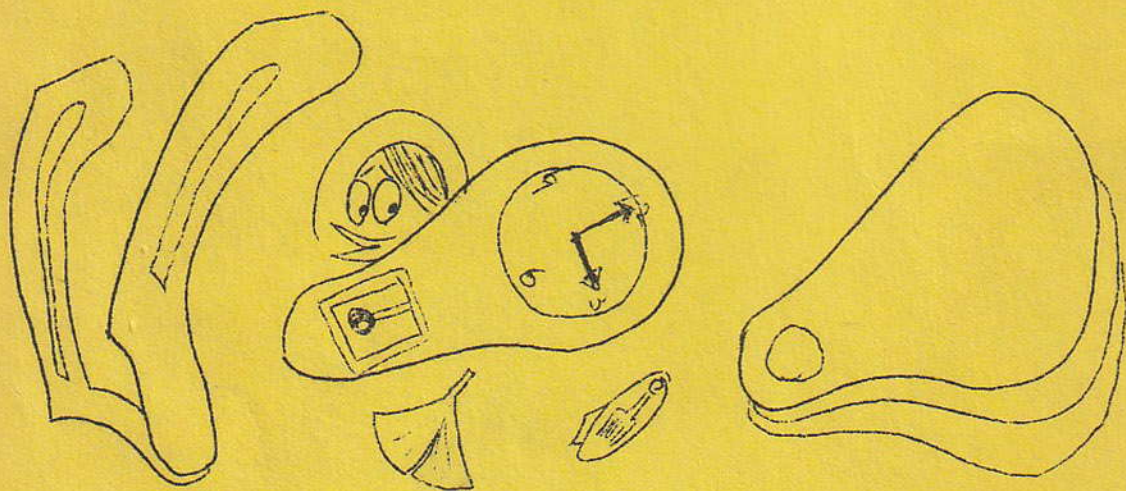


='73' 企 画 書



早稲田大学 野歩の会

秋合宿へ

幹事長 三枚照夫

夏合宿を終え、これから私たちは「秋へ」と駒を進めることになった。夏合宿が会員の内部で消化されず、すぐ秋合宿を迎えるということは、様々な反問題があるか、しかし私たちは、現実的に今、秋合宿の段階へ入って行くのである。例年のごとく夏の次は秋というように、何のためらいもなく入って行く。「野歩の会」の運動の表れとしての各合宿は、私たちににとってどのような位置を占めるのか。かつて「学生とは何か」と問われたことがあったが、今私たちは「野歩の会の会員とは」という問いに対し、答えを探し出すことができるか。私たちは早稲田大学の学生であり、その中の野歩の会に所属していることは事実である。この事実をどのように受け止めるか。問題は奥深い。だが乗り越えて行かねばならない問題である。

この情性の秋合宿（極めて私流にである。）に対し、私としては“Something”を期待している。この“Something”が契機となり、運動体としてのサークルをリカサゲ「野歩の会」を再検討する時期を、私は創るうとせず”

期待しているわけである。責めらねるべき所はたくさんある。だが考えたい、あるいは思い出したい。自身の存在というものを、どう処理したか。特にこの野歩きで。

私はこの秋合宿が人間的に終始することを希望する。粟日光は初雪が降ったようだ。

秋合宿才Ⅱ班

我々1班は、奥日光 白根山、男体山につき
3番目の高さを誇る女峰山、それに日光市内
から眺められる小真名子、大真名子山を山行し、
集中地湯元へのコースをとる。

奥日光の山々は、そのほとんどが信仰の山で
あり、女峰、真名子も~~例~~外ではない。日光市内、
二荒神社に登山口があり、長い尾根を登ると、
左側にとても大きな男体山が見える。一日目は、
女峰山 唐沢小屋に宿をとることになる。
二日目は、女峰山、帝釈山を登り、一度富士見峠へ
下り、ふたたび真名子山へと。

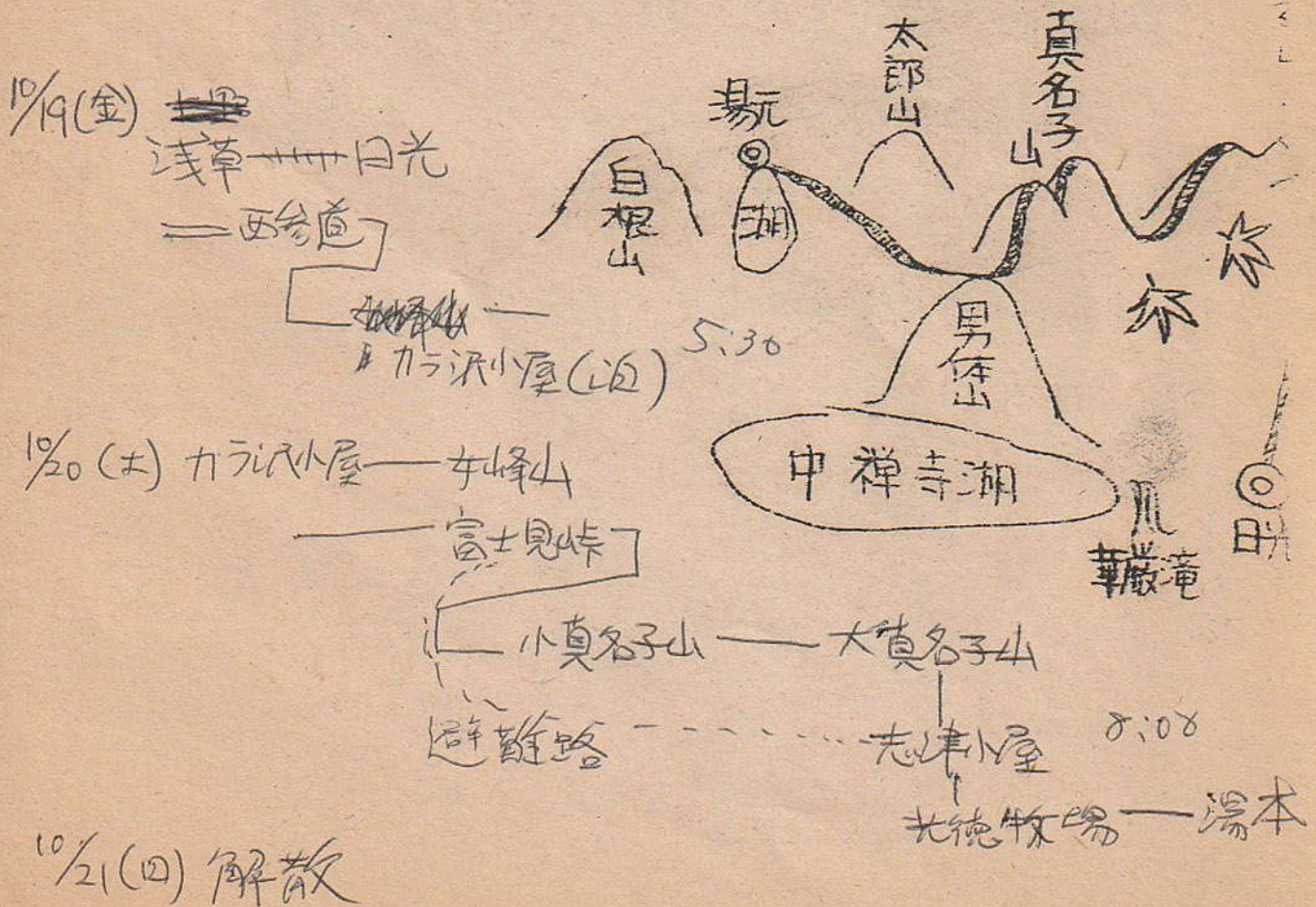
今が最も紅葉の美しい時であり、満足いく山容
山様が眺められることと思う。

C.L. 和田 則 昭

《メンバー》

- CL. 和田 則昭 (法3)
- SL. ~~竹内 博之~~ (教2)
- 2年 望月 俊直 (理2)
- ~~二瓶 弘~~ (商2)
- 1年 ~~荒井 茂登~~ (社1)
- ~~佐藤 英彦~~ (文1)
- 関口 豊 (商1)

《コース》



第一班 四班 コーエ

“春・夏・冬山はあつても秋山はない”といわれる。
我が野歩の会の過去における秋山合宿も時期
から秋山の紅葉を楽しむと云えるものではなかつた。
今年は幸ひ、早い時期に秋合宿を行なえる
ことになつた。
この機会に、短い“山の秋”を多りに味わひ欲
しいと思う。

コース概略

~~10/18 上野~~ +++++
19(全) 上野 +++++ 日光市 バス 中禅寺温泉 3:00 男体山
1:30 志津小屋(泊)
20(土) 志津小屋 3:40 太郎山 2:30 光徳牧場
1:00 湯元(集中地)
21(日) 解散

member

C.L 松林正俊 (法3)
(血液型 O)

S.L ~~宮田達夫 (教2)~~
(A)

2年 ~~芦川直毅 (政2)~~
(B)

水野由康 (政2)
(A)

1年 ~~鈴木孝徳 (政1)~~
(血液型 A)

吉川 寿彦 (法1)
(血液型 O)

← 合併

オ3班

別に書くべきことはないのだ。

なにし我が班は現時点において
参加者2人である。

当然合宿の言葉はしらべし。

松本の班に吸収されるわけがある。

しかしまあいいだろう。

楽しくやるべし — (おれは馬鹿に似ている)

—— だいたい今ふたつ(さあ味のチ-?)より ——

MEMBER

チ-? 鈴木 誠昭 (高3)

→ サブ 西条 輝幸 (高2)

◎ 雑用 ← 武井 信郎 (高1)

~~コ-2 概無田舎~~

~~10/18 上野 1000000~~

~~10/19 沼田 142 本清水 — 管沼田~~

~~10/20 管沼田 — 白根山 — 湯元~~

~~10/21 解散~~

オ IV 班

私たちは混合班です。

極楽コースをたどります。

オ一日目に私たちは集中地 湯の湖へ到着し、そこをベースとし、刈ヶ谷込両湖へと足をのばすことにしよう。この周辺は人気もあまりなく、静けさに囲まれたロマンの香りのする湖である。そこに私たちの足跡を残そう。

二日目は五色沼を訪れてみよう。余裕があれば白根山(2577.6m)にも登ってみてもいいではないか。

紅葉の中で、私たちは静かな時を過ごしてみよう。そしてすばらしい景観のもとで、一人自分の時間を持つては、自分の歩いた足跡や未来が見えてくるかも知れない。ゆっくりと散策をしよう。

CL. ミ枝 さん

1年 根本克男(芸)

版部忍(理)

《構成員》

CL 三枝照夫(商3)

SL 青木千枝子(教2)

3年 若菜進一(商3)

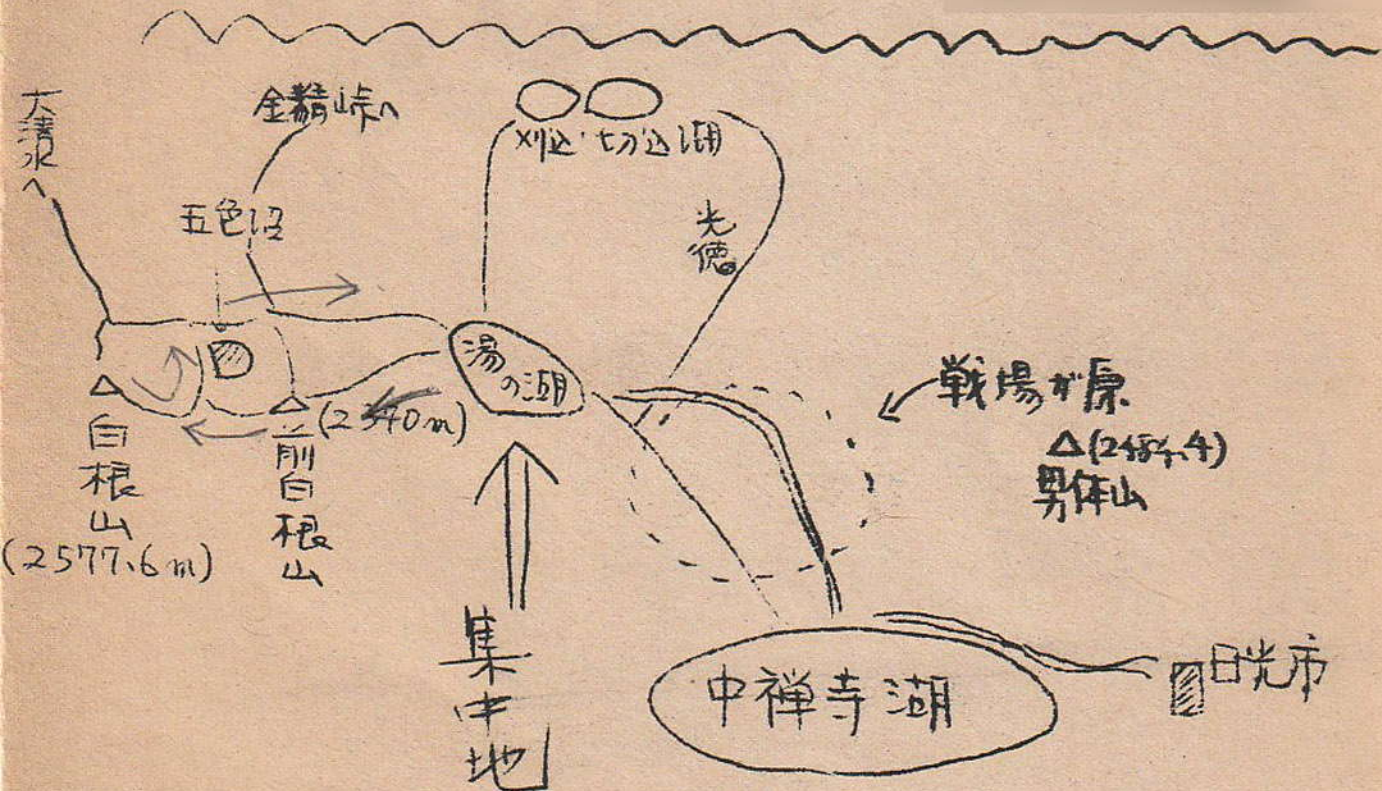
2年 大熊純子(教2)

1年 小原洋子(文1)

~~浅井千恵子(〃)~~

~~野口裕子(〃)~~

~~高橋喜美子(〃)~~



10/19 上野——日光——湯元(泊) 他はナシ

10/20 湯本——日光白根——湯本(泊)

10/21 解散

各係より

食料

各パーティ別に計画、各パーティの食料係に一任する。

集中日の夜と解散日の朝は全パーティ共同。
尚米は集中日の夜まで持参。

会計

行き交通費及び集中費合わせて2,500円を参加者は会計に納入すること。
尚食料費その他は各パーティ別の会計係に一任する。

備品

個人装備は防寒具類を多めに用意すること。
手ぶくろ、軍手等も必要。

在京本部

堀口 明

* 今秋合宿は四年生の希望により、四年生
は独自のパーティを編成することになった。
コース等は四年生に一任して、最後の秋合宿
を楽しんでもらう。
四年生の方々!! 思い出深い合宿と存じますよ
うお祈りします。



—非亮品—